

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

■ 受託開始日 2025 年 7 月 22 日（火）ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード (旧項目コード)	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
00N07 0 (ON07 8)	組織因子経路インヒビター2 (TFPI2) 5D115-0000-023-052	速やかに遠心 血清 0.3	S09 ↓ A00 (X)	凍結 (21日)	2~8	190 ※5 腫2	CLEIA	191未満 (pg/mL)	裏面参照

※5：生化学的検査（Ⅱ）判断料



● 組織因子経路インヒビター2（TFPI2）

卵巣腫瘍の良性/悪性の診断補助および卵巣明細胞癌の推定に有用な新規腫瘍マーカーです。

組織因子経路インヒビター2（Tissue Factor Pathway Inhibitor 2：TFPI2）は、周産期の胎盤から強く分泌されるセリンプロテアーゼインヒビターで、胎盤タンパク質5（Placental Protein 5：PP5）として知られています。健常人や子宮内膜症を含む良性腫瘍ではほとんど上昇せず、CA125との相関が見受けられないことから、両マーカーは補完関係にあり、組み合わせによる測定で卵巣悪性腫瘍をよりの確に検出できることが報告されています。

また、卵巣腫瘍の中でも他の組織型と比較して予後不良とされる卵巣明細胞癌において有意に高値を示すことから、明細胞癌の推定に有用とされます。

既存の卵巣腫瘍マーカーとの組み合わせ測定により卵巣腫瘍の良性/悪性の診断補助や卵巣明細胞癌の推定にご活用ください。

▼疾患との関連

卵巣癌、卵巣明細胞癌

▼関連する主な検査項目

CA125、ヒト精巣上体タンパク4（HE4）

▼検査要項

検査項目名	組織因子経路インヒビター2（TFPI2）
項目コード （旧項目コード）	00N07 0 （0N07 8）
検体量	速やかに遠心 血清 0.3 mL
容 器	S09→A00（X）ポリスピッツ
保 存 方 法	必ず凍結保存してください
所 要 日 数	2～8 日
検 査 方 法	CLEIA
基準値（単位）	191未満（pg/mL）
報告範囲（単位）	10未満、10～5000、5010以上（pg/mL）
桁数	有効3桁、整数4桁、小数0桁
検査実施料	① 190点 （「D009」腫瘍マーカー「27」）
判断料	144点（生化学的検査（Ⅱ）判断料）
備 考	採血後、2時間以内に血清分離してください。 凝固促進剤を含まない採血管は使用しないでください。凝固反応が充分でない場合、高値を示すことがあります。 卵巣明細胞癌の判別カットオフ値は270 pg/mL 未満です。 妊婦では高値となるため、妊婦検体の測定には適しません。

①「組織因子経路インヒビター2（TFPI2）」は、EIA法により測定した場合に算定できる。

●参考文献

明庭 昇平, 他：東ソー研究・技術報告 65：89～93, 2021. （検査方法参考文献）

前花 知果, 他：日本婦人科腫瘍学会雑誌 42（2）：205～213, 2024. （臨床的意義参考文献）